第67回卒業証書授与式　校長式辞

（前略）九十三名の卒業生の皆さん卒業おめでとう。

本日は多くの方から「卒業おめでとう」の祝福の声がかかると思います。ここでは、少し別の角度からこの「おめでとう」の意味を考えていきたいと思います。

生活をする上で、いろんな「おめでとう」を経験すると思いますが、その中で一番よく見聞きするのは「誕生日おめでとう」ではないでしょうか。皆さんも、誕生日が来ると「おめでとう」と言ったり言われたりしていることでしょう。

以前、何の CM か忘れましたが車を運転しながら何気なく聞いていたラジオから流れてきた CM が心に残っているので紹介します。どんな CM かというと、社会人になったばかりの都会暮らしの息子に田舎に住む母親が「誕生日おめでとう」と電話をするのです。しかし、息子は「今仕事中だから」とか「忙しいから」と言ってまともに電話に出ようとしません。それどころか、「いい年していつまで電話してくるんだよ」と言って鬱陶しがるのです。しかし、それ以降も毎年誕生日には決まって母親から電話がかかってきます。

それから月日が流れ、その青年も結婚し自分の子どもが誕生します。子どもが生まれた日、その病院の関係者や親しい多くの人からおめでとうと祝福されるのです。そしてその時、自分が親になった瞬間に青年はハッと気づくのです。「誕生日というのは親の記念日」なのだと。子どもの誕生日は、親にとって人生の中で最も幸せな日であることを理解し、母親の電話の意味を知るのです。それに気づいた青年は以後母親を大切にするという CM でした。

本日、皆さんがかけられる「おめでとう」は、辛いこと苦しいことを乗り越え、無事九年間の義務教育を終え、今日の日を迎えた皆さんへの祝福ですが、保護者の方にとっても今までの苦労が報われる日、心身ともに大きく成長したわが子を多くの人から祝福される記念日でもあるのです。今日の主人公は皆さんですが、そういう見方もあることを覚えておいてください。改めまして保護者の皆さん「本日はご卒業おめでとうございます。お子様は立派に成長されました。今日までご苦労様でした。」

誰のために勉強するのか。誰のために努力するのか。誰のために夢を追い求めるのか。当然答えは自分のためです。しかし、今まで育ててもらった親のためという答えも少しは含まれていてもいいのではないでしょうか。皆さんの幸せは親の幸せでもあります。自分の幸せを追い求めるのが最大の親孝行と言えるでしょう。

さて、私は上中中学校には以前にも勤めたことがあり今年久しぶりに帰ってきました。みなさんとのお付き合いは今年の一年だけでしたが学校での様子を見て、非常に嬉しく思いました。校長という立場よりも若狭町民として嬉しく誇らしく感じました。

話す人に正対して聴く姿勢、かかとの揃った靴が整然と並ぶ下駄箱、一言もしゃべらずに取り組む黙働清掃、職員室に出入りする時の礼儀作法、時折廊下から見る集中した学習態度、友達と過ごす休み時間の笑顔など何気ない普段の姿、また、非常にレベルの高

裏面に続きます

KAMINAKA JHS
学校だより　校長室より
2018/3/14
平成29年度
最終号

い作品を作り上げた上中祭文化部門、若さを一気に爆発させた体育部門、クラスのまとまりをハーモニーで表現した芸術性の高い合唱コンクール、全国大会や北信越大会、福井県大会に出場するなど各種大会やコンクールで卓越した成果を上げた部活動。静と動のメリハリが素晴らしい活動ぶりでした。

そして、最近では改修工事という不自由な環境の中でも感謝の気持ちを忘れず、仲間と励まし合いながら受験勉強に取り組む姿勢などはあらゆる面で下級生の模範となっていました。皆さんは先輩から受け継いだ上中中学校のよき伝統をさらに高めて下級生に引き継いでくれました。本当にありがとう。ここに残る在校生も必ずやこの伝統を引き継いでくれることでしょう。

最後に、餞の言葉として、みなさんも観たであろう映画「君の名は。」のような話をします。

未来のあなたが今のあなたを訪ねてくるという話です。想像してみてください。十年後、二十五歳のあなたを。ほとんどの人は何かの仕事に就いていることでしょう。生き生きと輝いた生活をしているあなたでしょうか。それとも何か悩みを抱えながら生活しているあなたでしょうか。そんな将来のあなたが時空を超えて今のあなたを訪ねてきて語りかけるのです。生き生きと輝いている将来のあなたなら「今のままでいいよ。自分を信じて頑張れよ。」とアドバイスするでしょう。しかし、何か悩みを抱えている将来のあなたならどのようなアドバイスするでしょうか。「勉強を頑張っておいた方がいいよ。」とか「こんな資格を取っておいた方がいいよ。」と言うかもしれません。また、いかに友達の存在や健康が重要であるかを説くかもしれません。

想像してみてください。未来のあなたは今のあなたにどんなアドバイスをするかを。

あの頃に戻ってやり直したい。という言葉をよく聞きますが現実は不可能です。それならば未来に仮想の自分を作り、未来の自分が今の自分へアドバイスするのです。

もう一人の自分を作り、客観的に自分を見つめることを少し難しい言葉ですがメタ認知と言います。つまり、時空を超えたメタ認知をするのです。私自身、判断に迷う場面や自分の進む道が本当に正しいのかわからないときには、もう一人の自分を作って「これでいいのか？」と尋ねます。案外もう一人の自分は本当の自分よりも冷静で厳しい判断をしてくれます。

カナダの心理学者エリックバーンの有名な言葉に「過去と他人は変えられない。しかし、いまここから始まる未来と自分は変えられる」という言葉があります。今まで生きてきた十五年間は変えられません。しかし、明日からの自分は変えられるのです。もし、今までの自分を変えたいと思っている人はこの卒業は大きな節目で、大きなチャンスでもあります。是非この卒業を明るい未来への架け橋にしてもらいたいと思います。

今後、皆さんは新しい環境で、いろんな人と出会い、いろんなアドバイスや影響を与えてもらうでしょう。それは、もしかしたら未来の自分が入れ替わってあなたの前に現れているのかもしれません。

さて皆さん、いよいよ本日をもってこの学び舎から旅立ちます。明日の朝起きるともう上中中学校に行かなくていいことを実感します。そして、いつも顔を合わせていた仲間たちともう会えないことも実感します。寂しく感じるかもしれませんが、本校で共に学び、友情を深めた仲間、九十三人がそれぞれ自分の将来に向かって歩み始めていることを思い浮かべ、見えない絆を力にして前を向いて進んで行ってください。皆さんの明るい未来を心より祈っています。（後略）

平成三十年三月十三日　　若狭町立上中中学校長　　竹内　久典